

講演の概要

●. 「人工知能, かくも数奇な学問 - データサイエンス大学院初年度に寄せて-」

講演内容：

AI はブームと冬の時代を繰り返す数奇な学問です。元 AI 学会理事としても、冬の時代の学生時代からずっと AI 学会会員だった身としても語りたいことは尽きません。現在は第三回目の AI ブームですが、第二回目の AI ブームは 1980 年代にピークを迎え、1990 年代以降は冬の時代と呼ばれました。日本ではブームの盛り上がりと冬の時代の反動が特に強かったようで、大学院で私が「AI 研究をやりたい」と言った際に恩師（後にロボット学会会長になった）が真顔で言った「AI って言葉を使っただけで撃たれるよ。」が今も強く印象に残っています。日本では長い冬の時代が続き、研究開発のための大規模な投資が継続的に行われたアメリカで AI ブームが起こる 2012 年ごろまで AI という用語が復権することはありませんでした。その後年々、本学の講義にも AI に関わるものが増えていったのは大変喜ばしいことです。



講師：上智大学 理工学部 情報理工学科 教授 矢入 郁子

講師プロフィール：

1994 年東京大学工学部卒業，1996 年同大学院工学系研究科修士課程修了，1999 年同博士課程修了，博士（工学）。同年，郵政省通信総合研究所（現：国立研究開発法人情報通信研究機構）研究官，2008 年より上智大学准教授。ユビキタス歩行者 ITS のための時空間情報処理や高齢者・障害者向けインタフェース，Future Internet Project AKARI，人間行動データ分析への深層学習応用，脳情報処理などの研究開発に従事。元人工知能学会理事など複数の学会での活動のほか，総務省電気通信事故検証会議，同省紛争処理委員会などの委員を勤める。旧姓は江口。